

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 6 年 12 月 9 日

番号	1	質問者	日下 茂	タイトル	消滅する朝来市！生残り対策は？
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	市長が知事選で選挙期間中に稲村氏支持を表明した件について	(1) なぜ、県民、市民の判断が待てなかったのか。市長会 21 市長とどんな情報を共有したのか。 (2) 民意「朝来市民の判断」と、市長の判断は違う。結果的に民意を尊重しなかった市長との反発があるが。 (3) 市長辞職に値する行為との市民の声がある。見解は。 (4) 県内 22 市長に対し、市長選で対立候補を擁立するとの会見への見解は。			市 長
2	斎場の管理委託の問題点	(1) 職員の高圧的言動について。職員と葬儀業者、利用者とのトラブルについて。 (2) 運営時間の割り振りについて。葬儀時間の割り振りに問題があると考ええる。 (3) 管理者への市の指導について。度重なるトラブルの解消に職員教育、指導が必要でないか。			市 長
3	本巣市長への親書	(1) 本巣市と災害協定を結ぶ提案をする、見解は。 (2) 朝来市と本巣市の連携を考えないか。			市 長
4	未来への投資	(1) 財政健全化についての見解。 (2) 教育費、基盤整備は未来への投資。福祉費は現在への投資である、見解と決断を求める。 (3) 農振解除計画が不十分。 (4) 和田山駅ヤードは最大、最高の開発地。路線価と固定資産税。			市 長 教育長

	JR、民間との未来へ繋がるプロジェクト設置。	
--	------------------------	--

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問） 令和 6 年 12 月 9 日

番号	2	質問者	西本 英輔	タイトル	朝来市の未来に向けて
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	藤岡市政一期目を総括して	(1) 藤岡市長が市長となられて 4 年が経過しようとしている。一期目を総括して、成果と自己評価をお伺いする。また、残された課題があるのであれば、併せて述べて頂きたい。 (2) 来年 4 月の市長選挙に市長は出馬されるのか、ご意向をお聞かせ頂きたい。また、残された課題をどう解決していくお考えなのか、二期目を目指されるのであれば、その決意と併せ、お伺いする。 (3) 本年 11 月 17 日に行われた兵庫県知事選挙にて、斎藤知事が再選した。市長は本選挙にて他候補の支持を表明した市長会有志の一人であるが、この結果をどのように受け止められるか。また、本市にとって何らかの影響はあるのか。			市 長
2	人材不足について	(1) 日本全体の有効求人倍率（本年 9 月）は 1.24 倍、兵庫県の 1.01 倍であり、本市は 1.54 倍である。10 ヶ月連続で前年同月を上回っているが、就職件数は減少している。現在における本市の人材不足、またその進行を表していると考えるが、どうか。 (2) 本市における事業所の廃業数は何件で、業種の内訳はどのようなものか。また事業承継ができなかった為の廃業は何件で、今後はどのように推移する予測か。 (3) 人口動態や各年齢人口率の変動などにより、日本全体で社会問題が顕在化すると予測される西暦をとって 20XX 年問題と称されている。本市の 2025 年、2030、2040 年、2054 年における後期高齢化率、高齢化率、生産年齢人口率はそれぞれどのくらいになると想定されているか。 (4) 本市は 2040 年頃に高齢者人口と生産年齢人口が逆転			市長

	すると推計されている。出生数の向上も最重要課題の1つではあるが、人材不足の解消も喫緊の課題と考えるが、市長のご所見をお伺いする。 (5) 本年の上半期での介護事業者の倒産数は、日本全体で81件、過去最多（58件）を大きく更新した。いくつかの要因があるが、人手不足も大きな要因の1つといわれている。本市の介護事業所の職員数は充足しているのか。また、職員の平均年齢はどのくらいか。 (6) 本年から無資格の介護従事者に対して、認知症介護基礎研修の受講が義務化された。また、国家資格である介護士の資格を取得する為には、介護福祉士実務者研修を受講する必要がある。後者に対してはハローワークによる補助金や、県社協による貸付制度もあるようだが、市としても福祉人材の確保の為に両者の受講費に対する助成を行ってはどうか。 (7) 人口流出の抑止、また就学や就職などで本市を離れた者のUターン促進の為、市内外の学校新卒者、またUターン者が市内事業所に就職した際に就職祝金を支給してはどうか。 (8) 外国人人材（特定技能実習生等含む）の活用は、業種を問わず、今後において今以上に必要となってくると考える。外国人人材や派遣社員を雇用した際に発生する管理料について事業所に補助を行ってはどうか。 (9) 事業者が外国人人材の雇用を計画した際に、その事業所の地域にある空き家を住居として活用できないか。	
--	---	--

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書(代表質問)令和 6 年 12 月 9 日

番号	3	質問者	松井 道信	タイトル	藤岡市政について
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	藤岡市政について	(1) 市長の今期の任期も残すところ 4 ヶ月余りとなった。新型コロナウイルス感染症対応・対策から始まり市民に寄り添い、そして対話をされながら、子育て支援の充実強化を始め多くの施策を進めてこられた。これまでの質問でも残された課題等をお伺いしたが、改めて今期の総括について伺う。 (2) 市長は、人と人がつながり幸せが循環するまちの実現を目指してこられたが、このことを推進していくために来春の改選に対してどのように考えているのか。			市 長
2	若者の定着について	(1) 9 月定例会で問題にされたように、朝来市の平均所得は県下で下から 6 番目と低い。このことは若者の定着率が低い事の決定因子となっていないか。若者の定着率を上げるための施策は既に検討・実行しているか。 (2) 平均所得を向上させるには、市内の GDP を上げることが必要ではないか。そのために取り組んでいる方策はあるか。 (3) 様々な方策を実行するうえで、市内の事業所とコミュニケーションを諮ることが重要と考えるが、そうした場は設けているのか。又頻度はどの程度で出席者はどういった方を対象としているのか。 (4) 戦略的な企業誘致によって市内を活性化することは、有効な手段であると考えているが、現在進めている新しい企業団地への誘致活動をどのように進めようとしているのか。			市 長
3	酷暑による農産物、生産者への影響について	(1) コメ不足によって、今期の JA の買取額は例年にないほどアップした。このコメ不足の影響の要因をどのように捉えているか。また今期の収穫量や品質はどうであったのかを伺う。 (2) 朝来市特産品の岩津ネギが 11 月 23 日に出荷解禁となったが、夏の異常気象による影響はなかったのか。例年同様の出荷は出来ているか。			市 長

4 情報の取り扱いについて	(1) 県知事選挙期間中に市長会有志により署名をした自治体名と市長名が公表された。SNS 上では様々な情報が飛び交っていたように思うが、署名された経緯について伺う。 (2) 市長会有志による署名によって SNS で様々な情報が飛び交っていた。このことによって本市の職員の業務に支障は発生しなかったか。 (3) SNS は情報発信に対し非常に有益なツールであるが、一方で誤った情報であったとしても、それが真実として伝わりかねない怖さも持っている。この度署名されたことにより、様々な情報が発信されたが市長はこのことに対してどのように受け止めているのか。 (4) SNS の扱いや影響に対して、市内の各校においてそれなりの教育上での指導をされている事と推察するが、今回の件で新たに取り入れるようなことは考えていないか。 (5) この度の知事選挙において、一方的で無責任な情報発信によって民意がゆがめられたと指摘する声がある。今後はこうした事に対して規制をする方向で法の改正が進むと思うが、学校教育の場ではどのような対策が必要と考えるか。	市長 教育長
----------------------	--	-------------------

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 9 日

番号	1	質問者	湊本 稔	タイトル	動画発信で観光客誘致の促進を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	動画発信で観光客の誘致促進を	(1) 1863 年（文久 3 年）に起きた生野義挙は、徳川幕府の終わりへと導く歴史の転換点で、多くの幕末ファンへのアピール効果がある。これを分かりやすく、短くまとめた動画を作製し、SNS 等で発信することによって観光客誘致を促進すべきですが、どのように取り組まれるのか。 (2) 1876 年（明治 9 年）に開通した「銀の馬車道」は、フランス人技術者のシスレー等の指導によって取り組まれたが、その過程には様々な人間ドラマがあり、日本の近代化にとって欠かせないものである。これを分かりやすく、短くまとめた動画を作製し、SNS 等で発信することによって観光客誘致を促進すべきですが、どのように取り組まれるのか。			市 長
2	選挙における混乱を避けるために	(1) 今回の兵庫県知事選挙は、様々な問題が現れた選挙であった。SNS では事実無根、誹謗中傷の投稿があふれ立候補者の中には自分の当選目的ではなく、他の候補者を応援する目的で行動された者もあった。また、県議会の特定の議員宅に押しかけ、選挙カーの拡声器で暴言を繰り返し、家族に不安をあたえ怯えさせて議員辞職まで招いてしまった。 この手法、行動が来年 4 月の朝来市長選挙において繰り返されるおそれが出てきた。これらの実行者が、声明を発表した 22 市長の選挙に押しかけると公表したからである。 県知事選挙では、県の選管からの指示によりポスター掲示場の規模が二転三転したと聞いているが、このことにより余分な経費を要することはなかったか。			選挙管理委員会委員長

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 9 日

番号	2	質問者	吉田 俊平	タイトル	よりきめ細やかな行政運営を！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	土づくりセンターについて	(1) 現在、女性一人で行っている重労働な小袋詰め作業を自動化し、施設内に充満しているアンモニアや硫化水素などの臭気対策を施し、原料である家畜糞の含水率を 70%未満にするため脱水プレスを導入すべきではないか。また、令和 5 年 6 月定例会で予算化された「指定管理施設燃料高騰対策支援事業」の 8 施設には入っていなかった土づくりセンターも同様に物価高騰に直面しており、電気代高騰により一部の施設機能（エアレーション）を止めるなど苦慮されておられることから、他の指定管理施設同様に「指定管理施設燃料高騰対策支援事業」を実施すべきと考えるがどうか。			市 長
2	有機農業について	(1) 有機農業を推進するためには「特産物振興事業」に「有機農業」を追加すべきだと考えるがどうか。また、先日、島根県浜田市を会派視察したが、非常に先進的な取り組みを実施され、多くの企業やメーカー、自治体等との連携を進めていることから、朝来市も浜田市（岡田普及支援担当課長）に連絡し、浜田市から学ぶべきであると考えがどうか。			市 長
3	教育振興について	(1) 小中学校ではサポートの必要な児童生徒が大幅に増えているようであるが、小中学校からの学びのサポーター要望数に対して、実際に配置する学びのサポーター数には大きな開きがあるようであるが、要望数及び配置数はどうなっているか。また、朝来市ではユニバーサル教育を推進しておりその特色としてアセスメントを実施しているが、アセスメントが配置数にどの様に反映されているのか。 (2) 市内小中学校の修学旅行は、歴史学習となっている一方で、養父市は平和教育がその目的となっている。歴史教育を否定するものではないが、来年度は戦後 80 年となり戦争を体験し戦争に赴いた人がいなくなっている現在では平和教育の必要性が更に増してい			市 長 教育長

	ることから、小学校若しくは中学校の修学旅行で広島の実爆ドームや長崎の平和公園に一度は訪れるべきではないか。 (3) 修学旅行費用は積立方式から一括払い方式に変更となったがその保護者の負担は非常に大きなものがある。修学旅行は学習指導要領で「旅行・集団宿泊の行事」とされ、教育の一環として位置付けられている一方で公費に準じる経費として受益者負担金を求めているが、公費と公費に準じる経費の区分を変えることは難しいが、補助金を交付することは自治体の判断でできる。東京都葛飾区では来年度から中学校の修学旅行費用を無料とし、全国でも長門市の様に既に定額補助を実施している自治体があることから、朝来市も修学旅行費用に対する助成制度を創設すべきと考えるがどうか。	
4 保育振興について	(1) 市内のこども園には待機者がいないとの認識であったが、それは新年度からの入園についてであり、年度途中の入園は保育士の確保が難しいことから、朝来市にも隠れ待機者が存在しているが、その人数は一年間に何人か。また、新年度の入園者数に対する定員よりも少なくとも一人の増員を実施する必要があると考えるがどうか。	市長
5 糸井の大カツラの保護について	(1) 令和6年6月定例会で「糸井大カツラを将来に亘って管理していくためにも私設の管理道を林道化すべき」と提案したが、基幹・支線林道は施業計画等の準備が必要となることから、森林環境譲与税を財源として作業道を整備すべきではないか。	市長 教育長
6 スケートボードパーク設置について	(1) 令和6年7月3日に市民の方から「スケートボードパーク設置」に関する要望が出されましたが、今後和田山駅に設置される予定の自由通路と駅北の社会資本整備事業の中で、スケートボードパークの設置を検討する考えはないか。	市長
7 糸井地区市民会館について	(1) 糸井地区では糸井地域自治協議会主催で「糸井文化祭」が毎年開催され、多くの出品や来場があり、地元野菜やたらふく鍋等の出店も多く、地域交流や賑わいが大いに実現されていますが、駐車場が少なく、駐	市長

	車場や隣の旧 JA 跡地もイベントに活用することから 駐車ができず、そのために今年度は警察の規制や指 導によりかなりの混乱があったことから、駐車場の 整備が早急に必要と考えるがどうか。	
--	--	--

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 10 日

番号	3	質問者	足立 義美	タイトル	住民自治の充実強化に向けて
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	地域自治協議会の活性化について	(1) 朝来市自治基本条例検証特別委員会は、本条例が市民に十分理解されないまま今日に至ったとし、今後は、啓発チラシやパンフレットを作成するなどの方法で市民等に、より身近な条例となるよう努める必要があるとしていますが、市は何か対応を考えておられますか。 (2) 同特別委員会では、朝来市自治基本条例の第 16 条第 2 項で地域自治協議会及びその他のまちづくり活動を行う団体等に対して、必要な支援を行わなければならない規定に「義務化」すべきとしましたが、市の考えはいかがですか。 (3) 朝来市自治基本条例審議会は、市の内部検証に基づき制度や運用状況について検証されましたが、より効果的な方法について検討する必要があると考えますがいかがですか。 (4) 現在は地域自治包括交付金が交付されています。近年、交付金はほぼ横ばいの状況です。活性化を図るため大幅な支援増が必要だと考えますがいかがですか。 (5) 本来、事業に対して補助すべきで、事業支援の部分を増やせば地域の創意工夫が生まれるのではと考えますがいかがですか。 (6) 地域自治協議会に予算提案権を付与することについて、どのような見解をお持ちですか。 (7) 富山県南砺市の小規模多機能自治の取り組みについて清風の絆で視察研修を行いました。地域づくり協議会の設立は平成 31 年と日は浅いにもかかわらず、活発な活動が展開されています。その大きな原動力の一つが、中間支援組織の存在です。 朝来市として			市 長

	中間支援組織を設置して活性化を図る考えはいかがでしょうか。 (8) 地域自治協議会の活性化には、女性の力を生かすことが重要だと考えますが、女性の参加を促進するための取り組みはされていますか。	
2 新たな地域協働の姿について	(1) 条例では、地域の課題を共有し、その解決に向けて地域自治協議会が取り組む地域の街づくり目標、活動方針等を定めた「地域まちづくり計画」を策定することとなっています。しかし「新たな地域協働の姿」との関係性が明確化されていないように感じます。この点についてはいかがですか。 (2) 地域コミュニティの在り方を検討する中で、小規模集落へのヒアリングが実施されました。まちづくりフォーラムでも指摘がありましたが、大規模集落における課題把握はどのようにされましたか。 (3) 大規模集落においてはどのような課題が存在するとお考えですか。 (4) 在り方懇話会の議事録が2回目以降公開されていないようです。指針の改定を6年度中に行うのであれば、議事録のタイムリーな公開が必要ではないかと思いますがいかがですか。 (5) 企業や事業者をネットワークの一員として位置づけようとされています。そうならば、在り方懇話会のメンバーに企業や事業者を加えるべきではないのでしょうか。除外した理由をお聞かせください。 (6) 指針改定は、今後の地域自治協議会活動の活性化に重要な役割を果たすと考えます。市議会にも意見聴取や説明の機会は設けられるのでしょうか。 (7) 指針の改定は、朝来市自治基本条例の改正につながる可能性があるのではないかと考えますがいかがですか。	市長

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 10 日

番号	4	質問者	関 綾乃	タイトル	住んで良かった朝来市に！
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	103 万円の壁 について	(1) 所得税の課税限度額 103 万円が引き上げられること によって本市の場合、どんな影響が考えられるか。			市 長
2	本市の学校部 活動及び地域 での活動につ いて	(1) 中学校の部活動はどのような教育的位置づけか。 (2) 学校の部活動に所属している生徒の割合と学校外の クラブに在籍し活動する生徒の割合はどれくらい か。 (3) 部活指導員など外部顧問として招聘している部活動 もあると聞く。雇用の身分などどの様な制度か。 (4) 生涯学習課で講師の人財バンク制度がある。これを モデルとして部活動応援隊（仮称）を作り、少人数 の生徒でも、部活動を応援できる制度を創設しては どうか。 (5) 合同部活動の検討はあるのか。 (6) 教員の働き方改革の一つとして、土・日部活動への 関わり方が変わろうとしている。学校教員による部 活動顧問が少なくなっていく中、部活動への「兼 職・兼業・兼務」へのサポート料について本市とし て準備し、顧問をしてくださる教員を確保してはど うか。 (7) 朝来愛の醸成は大切である。ふるさとを学術的にも 学べる一つとして、但馬検定があるが但馬検定自体 を知らない生徒もいる。学校で紹介し、チャレンジを 促進してはどうか。 (8) 現在、観光ガイドの団体は高齢化が進み、存続も危ぶ まれている。中学校で但馬検定の受験を勧め、合格者 を春夏休みなどの期間、ガイドサポーターとして取 り組んでもらってはどうか。ふるさと愛を育み実践			市 長 教育長

	的に発信するという意味において、挑戦してはどうかと思うが、いかがか。また、実際に現段階でガイド確保には具体的にどう取り組んでいるのか。 (9) スマイルルームを利用しながら、学校へ通学できるようになっている子ども達はおられるのか。「未来ある大切な朝来の子どもへの応援」として、通学費を応援できないか。	
3 子ども達を取り巻く環境について	(1) 4月から活躍の「こどもみらい部」が創設され、保健センターで業務を行っておられる。部課が創設された当初の目標を達成するために、さらに改善が求められることなどはないか。 (2) 「総合相談窓口」など、社会福祉課との連携は欠かさないケースにはどの様に対応し、進めているのか。総合的・複合的にマネジメントする役割についてはどのようなになっているか。 (3) 子育て支援課には母子保健や就学前児童を持つご家庭への支援と情報提供など、大いに活躍が期待される。現状、どの様な関わり方か。	市長 教育長
4 ドローンを活用した市の取組みについて	(1) 昨年の竹田城跡閉山期、ドローン愛好者による撮影が大変好評だったと伺っている。愛好者が自由にドローンを飛行させることについては、まだまだ法的規制を設ける必要があると考えるが、時期と場所を決め、有料化し、本市の「売り」にしてはどうか。また、ドローン撮影したものをコンクール化して、優れた作品を本市のPRに使ってはどうか。 (2) 本市においても、オンライン診療の促進や医薬品のドローン配達が必要になってくるのではないか。 (3) 防災の観点から、適切な避難場所の確認、また、災害で被った被害状況の確認など、「人」では危険な場合もあることからドローンによる情報収集が有効だと従来からお伝えしてきた。今後の防災に活かす具体的な考えは進んでいるか。	市長

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 10 日

番号	5	質問者	水田 文夫	タイトル	住み続けたい元気で美しい朝来
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	自分たちのまちは自分たちで	(1) 「定住人口」でもなく、短期的な「交流人口」でもない、何らかのかたちで地域の人と関わる人を「関係人口」と言いますが、日々、価値観が変化していく中で、移住定住などの人口誘致だけでなく、この「関係人口」を誘致し、増やすことについて、市長どのようにお考えですか。 (2) 「関係人口」をふやすために、どのような施策が考えられますか。 (3) さらに「地域に対する誇りや自負心を持ち、自分のスキルや知見をまちに還元する人々」を、「活動人口」と言われていますが、市長は「活動人口」についてどのような認識をお持ちですか (4) 「活動人口」が増えることが、持続可能な地域づくりに欠かせないと思いますが、朝来市で活動人口がふえていると、思われますか (5) 一方で、少子高齢化、人口減少が進み、税収の低下などでこれまでの公共サービスが維持できない限界にきている地域がある中で、地域住民や民間企業、活動団体などとの共創については、どのようにお考えですか			市 長
2	地域の誇りの醸成	(1) 先ほど述べたように「活動人口」は「地域に対する誇りや自負心を持ち地域づくりに活動する人たち」と定義づけされています。市民が地域の中で何を「誇り」と思うかが活動の手掛かりになります。市長ご自身の活動の中で何が「シビックプライド」ですか。 (2) 天然記念物や無形文化財など市の文化財を守り、継承する取り組みが市内各所で行われています。この活動も、「地域の誇り」を次世代に継承する意味で大変重要な地域づくり活動であり、「活動人口」です。			市 長 教育長

	しかし、少子高齢化と資金不足の中で先細りしているところもあります。このような活動を支援する取り組みは「活動人口」の増加にもつながると思います。天然記念物・文化財など地域の誇りを守り、育てる支援策はお考えですか (3) 朝来地域自治協で文化庁の「地域文化財総合活用推進事業」に取り組み、佐中の進藤家住宅と原六郎語り継ぐ事業を行っています。11月20日には、神戸新聞総合出版センター「のじぎく文庫」から「原六郎 渋沢栄一と並び立つ実業家」が出版されました。このような取り組みが地域の誇りを醸成し、かつ「活動人口」を増加させる取り組みになると考えています。市長は、このような取り組みをどのように考えられますか (4) 進藤家住宅と原六郎を焦点にあてて、「ふるさと教育」も可能になると思いますが、教育長はどの様にお考えですか	
3 JR の企画を生かせ	(1) JR 西日本主催の朝来を PR する座談会が予定されており、その模様が来年、地方紙6紙に記事が掲載されると聞いています。JRの真の狙いはともかくとして、朝来をPRする良い機会だと思います。市長は、この企画をご存じですか (2) この企画では、播但線の駅が紹介されるとのこと、どの駅が取り上げられるのですか (3) この機会を逃さずに活用すべきと考えます。新年度に何か計画されますか	市長

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 10 日

番号	6	質問者	加藤 貴之	タイトル	こどもへの投資は未来への投資
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求める者
1	学校における 個への対応と 効率化の両立	(1) 学校のあり方について基本的な考え方を問う 政府の「骨太の方針」（経済財政運営と改革の基本方針 2024）47 ページでは、「質の高い公教育の再生」として大きく 2 つの方向が示されている。それは、「個別最適・協働的な学び」「柔軟な教育課程の実現」といった話と、「働き方改革の更なる推進」「教師の時間外在校等時間の削減の徹底」といった話である。 ①朝来市の公教育において、この二つを両立することは可能なのか。教育長の見解を問う。 ②「質の高い公教育の再生」のためには、これまで以上に学校教育予算の充実が必要だと考える。市長の見解を問う。 (2) 給食のバリアフリー化について 咀嚼・嚥下障害のある児童生徒向けのミキサー・刻み食や、宗教上禁忌のある食材を除外した給食の提供のため、給食センターの調理員を増員すべきと考えるがいかがか。 (3) 学校徴収金の口座振替について ①市内小中学校で児童生徒が学校徴収金を現金で持参している学校は何校あるか。 ②口座振替に移行する上でどのような課題があるのか。 (4) メール連絡網での連絡について ①市内小中学校で、保護者から学校への欠席等連絡にメール連絡網が使えない学校は何校あるか。 ②メール連絡網への移行にどのような課題があるのか。			市 長 教育長

	(5) 全国こども絵画選抜展について 朝来市の「全国こども絵画選抜展」は現在、学校・団体での選抜応募を要件としているが、教員が忙しいと応募が叶わず児童生徒にとって不公平である。個人単位でも応募できるよう要項を見直すべきと考えるがいかがか。	
2 地域で子どもを育てる仕組みづくり	政府の「骨太の方針」ではさらに、「全てのこども・若者の健やかな成長を社会全体で支えていく」とある。地域ぐるみでの教育・子育ては、その地域特性に合わせた取り組みが必要だと考える。 (1) 市の「あさご・夢学びプラン」の副題は「地域が共に作りあげる教育の推進」である。教育長は、朝来市のどのような地域性を活かして、地域総ぐるみの教育を進めようと考えているのか。 (2) コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的な取り組みは政府の「骨太の方針」でも市の「あさご・夢学びプラン」でも目標として示されているが、どのような将来像を描いているのか。教育長及び市長の見解を問う。 (3) コミュニティスクールや地域学校協働活動では、イベントやふるさと教育などの「特色ある」活動をすることに重きが置かれているように感じる。一方で、登下校の付き添いや、授業についていけない子の補習など、日常的な支援が足りていない声を聞く。どのように考えるか。 (4) 市の子ども・子育て支援計画には「子育て家庭を地域で支えるまちづくり」とある。市長は、朝来市のどのような地域性を活かして、地域ぐるみの子育てを進めようと考えているのか。 (5) 在宅保育支援金について 現在、7ヶ月～2歳を対象としている在宅保育支援金について、すべての未就学児へ対象を拡大すべきと考えるがいかがか。	市長 教育長

	(6) 第3子保育料無償化について 国の基準では子どもの数え方が独特で、実際には第3子であっても国の無償化制度を受けられない方がいる。国の制度に上乗せして、第3子以降のすべてのこどもについて保育料を無償化すべきと考えるがいかがか。	
--	---	--

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 10 日

番号	7	質問者	浅田 郁雄	タイトル	市民にやさしい生活を
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	人口減少について	(1) 市長は、人口減少についてどのように思い、お考えかお伺いします。 (2) 現在、朝来市では 1 年間に何人くらいずつ減少しているかお伺いします。 (3) 人口が減少しているのは、自然減が大半を占めていますが、この事についてどのように思い、お考えかお伺いします。 (4) 当局は、人口減少について何か良い考えをお持ちですかお伺いします。			市 長
2	デマンドバスについて	(1) デマンドバスで、生野エリアからは出入り出来ないのは、市民にとって大変な負担になっていると思うが、今後、市内全域に移動が出来るように考えているのかお伺いします。 (2) 今すぐに、市内全域が駄目でも、せめて病院とか、ショッピングセンターとか、本庁舎とか主要なところまでぐらいは、移動が可能ないようにしてはと思うのですが、当局のお考えをお伺いします。			市 長
3	公共施設再配置について	(1) 公共施設再配置計画は、どこまで進んでいるのかお伺いします。 (2) 現在、女子中学生だけではないかもしれませんが山東体育館を使用しているが、大変雨もりがひどく、女子中学生が滑って転んだと聞きました、転んで頭でも打って脳に障害でもあったら大変なことになります。せめて体育館の雨もりぐらいは、直して使用したほうが良いと思いますが、当局ではどのようにお考えかお伺いします。			市 長

4 民生委員の仕事について	(1) 民生委員の女性と男性の割合はどのくらいですかお伺いします。 (2) 民生委員の仕事の中で、妊婦さんへの仕事で女性の民生委員さんは良いのですが、男性の民生委員さんは大変仕事がしにくいと聞いていますが、当局ではこの事についてどのようにお考えかお伺いします。 (3) 今後、民生委員のなり手がなくなり、特に男性の民生委員がなくなると思うが当局のお考えをお伺いします。	市 長
5 通学定期について	(1) 通学定期に対して、市の助成金等はあるのかお伺いします。 (2) 市内に住居が有り、他市へ通う学生の通学定期に対して、市から補助はしているのかお伺いします。 (3) 市内に居住していて、市内の学校に通学している生徒に通学定期の補助はないのかお伺いします。	市 長 教育長
6 あさご Pay について	(1) 今年のあさご Pay の進捗状況はどうでしたかお伺いします。 (2) 低所得者や特に国民年金だけで暮らしている方は、2万円も使うことが出来ないので、あさご Pay のあり方について低所得者向けに何か考えはないか、お伺いします。	市 長
7 市内の各学校の PTA について	(1) 市内の各小、中学校の PTA の存続等について、又苦情等が出ていないのかお伺いします。	教育長

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問） 令和 6 年 12 月 11 日

番号	8	質問者	上田 幸広	タイトル	暮らしやすいまちをめざして
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	難聴者支援について	(1) 補聴器購入助成事業の実施状況について伺う。 (2) 補聴器購入費助成金交付金要綱に記載の「認定補聴器専門店」は、市内に無いが、市内で購入できないのか伺う。 (3) 庁舎窓口では、耳の聞こえづらい方に対して、どの様に対応されているのか伺う。 (4) 他自治体では、耳の聞こえにくい方への対応に「軟骨伝導イヤホン」を導入している事例がある。朝来市も導入すべきと考えるが市長のご所見を伺う。			市 長
2	広告掲載事業について	(1) 現在の広告掲載事業の現状について伺う。 (2) 各部署において広告掲載が可能なものがないか意見を聞き検討してはどうか。 (3) 公用車、デマンド交通あさ GO、庁舎内エレベーターなどを広告掲載の対象としてはどうか。 (4) デジタルサイネージへの広告掲載、市内施設のネーミングライツについて市長のご所見を伺う。 (5) ケーブルテレビでの広告放送は可能なのか伺う。 (6) ケーブルテレビでの広告放送について導入してはどうか。			市 長
3	おたふく風邪ワクチンの助成について	(1) おたふく風邪ワクチンの接種率について伺う。 (2) 市内の病院で接種出来るのか、また費用はどのくらいかかるのか。 (3) 独自の助成制度を設ける自治体も広がっている。朝来市においても助成すべきと考えるが市長にご所見を伺う。			市 長

4 心不全の検診について	(1) 朝来市において心不全で亡くなる方の割合を伺う。 (2) 朝来市の心不全に対する予防対策について伺う。 (3) 心不全の検診の現状について伺う。 (4) 心不全の検査では BNP 検査の有効性が認められているが、市長のご認識を伺う。 (5) BNP 検査の費用を助成し総合検診に取り入れるべきと考えるが市長のご所見を伺う。	市 長
---------------------	---	------------

第 21 回朝来市議会定例会一般質問通告書(個人質問) 令和 6 年 12 月 11 日

番号	9	質問者	藤本 邦彦	タイトル	地域の歴史遺産を次世代へ
質 問 事 項		質 問 要 旨			答 弁 を 求 め る 者
1	地域の歴史遺産を守るために	(1) 国、県、市の文化財に指定、登録されていないが、歴史文化遺産としての価値を有する地域の「文化財」について質問する。 地域の神社などは、氏子や地域で保全管理しているが、担い手の高齢化や減少の中、維持管理が困難となり、いずれは管理ができなくなるのではないかと不安を持たれている市民の声を多く聞くようになった。 この様な実態調査と共に、後世に残すためにはどのような取り組みが必要かということ。「文化財保存活用地域計画」の中に盛り込む必要があると考える。 肝になるのは地域の若い世代に引き継いでいくことが出来るか、ということだと思うが、どのようにお考えか。 (2) 地域に埋もれている「文化財」の掘り起こしも課題である。地域主導で、掘り起こしと報告、整理、管理体制の検討などを進めることが理想だと思うが、地域が活動を進めるためには市の支援が必要だと考える。どのようにお考えか。 (3) また、若い世代に伝えるための勉強会などを地域で積極的に行って頂くよう支援することも必要と考えるが検討されてはどうか。			市 長 教育長
2	地域の力を高めるために	(1) 地域づくり活動において「おてつたび」の活用は有効であると考え。「おてつたび」について朝来市ではどのように活用しようと考えておられるか。 (2) 地域づくり活動において、地域の若い世代の参画が大きな課題である。 なかなか活路が見出せない状況が続いているように感じるが、自治協議会など、地域団体相互の交流の場がもっと必要ではないか。特に若い世代がそのような場に参加することはほぼないように見受けられる。 市主催の未来会議では、参加された若い世代の方どうしの交流が生まれ、地域活動に活かされる			市 長

	こともある。若い世代が主体的に関われる交流の場を設けることで、地域の担い手を育てることにつながると思うがどうか。 (3) 多くの自治体の庁舎内には市民活動交流スペースが設けられている。市民の方が自由に利用し、語り合い、学び、交流できる、そんなオープンスペースを朝来市役所の本庁舎内にも設置できないか。	
--	--	--